

# かぬま フラッシュ

KANUMA★FLASH



## いちごを食べて！いちごで遊んで！ — いちごのもり —

2月16日、市花木センターで「いちごのもり」が開催されました。

今年は、会場内に子ども向けの遊び場「いちごランド」が登場。中でも、水に浮かんだいちごの模型をポイですくうゲーム「いちごすくい」のブースは、多くの親子連れでにぎわいました。また、プロ野球チーム「栃木ゴールデンブレーブス」やアコースティックユニット「ケセランパサラン」、[U.N.A.ダンスクラブ]によるステージイベントも行われ、いちごグルメを片手に楽しむ人の姿が多く見られました。

## 鼻をくすぐるいい香り…

### — 「上永野 蠟梅の里」開園 —

「上永野 蠟梅の里」が、昨年12月～3月1日まで開園されました。

同園は、「基本種(和蠟梅)」を鑑賞できる国内唯一の場所。4種類のロウバイを楽しむことができ、種類によって見ごろが異なるため、来園の時期によってさまざまなロウバイが咲き誇ります。

来園者たちは、ろう細工のように透き通った可憐な花をうっとり眺めながら、時折顔を寄せ、ロウバイの甘い香りを満喫していました。



## 冬晴れの下 福のお裾分け

### — 医王寺 節分会 —

2月2日、医王寺(北半田)で、恒例の「節分会」が行われました。

講堂での護摩祈願に続いて行われる福まきには、福のお裾分けにあずかろうと、子どもからお年寄りまで多くの人が大集合。

開始の合図とともに、一斉にお菓子やボールが境内に向けてまかれると、「こっちに投げて」と元気よく催促する子どもたちのほほ笑ましい姿が見られました。



当初予算

古澤育英会

地域おこし協力隊

ふるさと大使・  
元気アップ応援隊

市民のひろば

アイドル・  
フライドシユ

健康

お知らせ

まる博ものがたり



## より安全なまちへ — 市防災会議 —

2月13日、菊沢コミュニティセンターで「市防災会議」が実施されました。

この会議は、地域の実情に合った「地域防災計画」とするために年1回実施されるもの。今回は、昨年10月の台風第19号の被害状況を踏まえ、指定緊急避難場所や避難情報の発令基準などの見直し方針について検討されました。

また、会議と併せて、台風第19号の災害対応の協力者への感謝状贈呈式も行われ、復旧に貢献のあった団体・企業・個人に対し、佐藤市長より感謝状が贈られました。

## いちごモチーフで手洗いも楽しく — サンユーからいちごのシンク寄贈 —

2月4日、家具製造業の㈱サンユーから市へ、いちごモチーフの幼児用シンクが寄贈されました。

これまでも、動物などをモチーフとした幼児向け洗面台を製造している同社。今回製作したのは、手などを洗うボウル部分がいちご型になっているもので、「いちご市のPRにつながれば」との思いから、市へ贈られました。

佐藤市長は「多く子どもたちが利用できる公共施設に設置したい」と感謝を伝えました。



## 東京五輪を前に、大使任命!

### — プロクレー射撃選手 石原奈央子さんが かぬまふるさと大使に —

3月10日、プロクレー射撃選手・石原奈央子さん(45)に、23人目となる「かぬまふるさと大使」を委嘱しました。

古峯神社(草久)所属で、神職も務める石原選手。東京五輪のクレー射撃スキート女子日本代表に内定しており、前回のリオ五輪に続き2度目の出場となります。「鹿沼市のおいしい食などを大いにPRしていきたい」と語った石原選手。東京五輪出場選手として、ふるさと大使として、今後の活躍が期待されます。

